

 株価は「偵察機」かもしれない

● 初級レベル

株価を見ると、未来のお金の行き先が少し見える？

さて。

ここで NIGHT FLIGHT らしく、株式市場のレーダーを見てみましょう。

日経平均。

TOPIX。

半導体。

重工。

銀行。

電線。

建設。

商社。

いろいろな数字や会社の名前が並びます。

でも、初級レベルでは全部覚える必要はありません。

まず考えたいのは、

「どうして株価を見るの？」

です。

 飛行機より先に飛ぶ「偵察機」

昔の戦いでは、本隊が動く前に、

偵察機

が先に飛ぶことがありました。

前へ飛んで、

「あちらに何かあるぞ」

「こっちの道は危なそうだ」

と調べます。

株式市場も、少し似ています。

会社の売上が大きく増える前。

新しい工場が完成する前。

たくさん利益が出る前。

投資家が、

「この会社は、これから仕事が増えるんじゃない？」

と考えて、先に株を買うことがあります。

すると株価が動きます。

だから株価は、

未来を少し先に見に行く偵察機

と考えることができます。

半導体工場ができるとしたら？

たとえば大きな半導体工場が日本にできることになりました。

そこで考えてみましょう。

工場には何が必要でしょう。

建物。

製造装置。

電気。

電線。

材料。

水。

物流。

人。

たくさん必要です。

すると投資家の中には、

「工場を作る会社だけではなく、電線会社にも仕事が増えるかも」

「建設会社も忙しくなるかも」

「材料会社にも注文が来るかも」

と考える人が出てきます。

そして、その会社の株を先に買うことがあります。

レーダーを見ると「機影」が出る

NIGHT FLIGHT では、これをレーダーのように見てみます。

半導体の株が動いた。

次に電線が動いた。

建設も動いた。

銀行も動いた。

すると、

「あれ？ お金がいろいろな場所へ広がっているぞ」

と気づくことがあります。

反対に、

半導体だけ上がって、

ほかは全然動かない。

ということもあります。

だから、

日経平均が上がったかだけではなく、どの会社や産業へお金が向かったかを見る
のです。

 「株価が上がった＝会社がもうかった」ではない

ここは、とても大切です。

株価が上がったからといって、

その会社が今日、急に大もうけした

とは限りません。

株価は、

「これから良くなりそう」

という期待だけで上がることもあります。

でも、期待が外れれば下がります。

つまり、

株価は未来の予想であって、答えではない

のです。

 偵察機は、まちがえることもある

偵察機が、

「あっちに何かありそう！」

と報告した。

でも実際に行ってみたら、

「あれ？ 何もなかった」

ということもあります（笑）。

株式市場も同じです。

みんなが、

「この会社は成長する！」

と思って株価が上がった。

ところが、

工場建設が遅れた。

注文が増えなかった。

材料費が高くなった。

利益が出なかった。

ということもあります。

だから、株価だけを信じません。

本当に仕事が増えたか確かめる

株価という偵察機が、

「この産業が面白そう！」

と教えてくれたら、

今度は実際の数字を確認します。

注文は増えた？

売上は増えた？

粗利は残った？

利益は増えた？

新しい工場を作った？

社員の給料は上がった？

ここまで見て、

「なるほど。偵察機の予想は本当だったんだ」

と確認するわけです。

一つの株ではなく「森」を見る

たとえば、一つの半導体会社の株だけが上がったとします。

それだけでは、その会社だけの特別なニュースかもしれません。

でも、

半導体。

電線。

建設。

銀行。

材料。

物流。

と、いろいろな会社が動き始めたらどうでしょう。

もしかすると、

大きなお金が産業全体へ流れ始めている

のかもしれない。

だから NIGHT FLIGHT では、

一本の木だけではなく、森を見る。

一つの会社だけではなく、

いろいろな産業の動きを一緒に見る

ことにします。

日経平均って何のために見るの？

ニュースでは、

「日経平均が上がりました」

とよく聞きます。

これは日本の株式市場の様子を見る、一つの大切な数字です。

でも、

日経平均が上がったから、

「日本の会社が全部元気！」

という意味ではありません。

一部の大きな会社が強く上がって、日経平均を押し上げることもあります。

だから、

大きな数字だけでなく、その中身を見る

のです。

これは最初の 4158 兆円の話と同じですね。

😬 **また 4158 兆円とつながった**

最初は、

「日本には 4158 兆円もある。それなら豊かじゃないの？」

という疑問でした。

そこで、

大きな数字だけでは分からない

ことを知りました。

株式市場でも同じです。

「日経平均が上がった！」

だけでは分からない。

その中で、

どの産業が上がった？

どこにお金が集まった？

そのお金は次にどこへ行きそう？

と見る。

つまり、

数字の中身を見る

ことが大切なのです。

📌 **株価は「日本復活の証明書」ではない**

ここは、しっかり覚えておきましょう。

株価が上がった。

だから、

「日本復活！」

ではありません。

株価は、

「もしかしたら、ここに変化が起こるかもしれないよ」

と教えてくれる偵察機です。

そのあと、

工場。

仕事。

利益。

給料。

消費。

次の投資。

まで実際に動いたかを確認めます。

🔴 偵察機から「お金の血流」へ

株式市場で、

「電線にお金が来た！」

と分かった。

次に調べます。

本当に電線の注文が増えた？

工場は増産した？

会社に利益は残った？

給料は上がった？

次の設備投資をした？

こうやって、

株価

↓

仕事

↓

利益

↓

給料

↓

次の投資

をつないでいきます。

これが NIGHT FLIGHT の観測です。

🌟 初級レベルのポイント

株価は、
未来を少し先に見に行く「偵察機」
と考えてみましょう。
でも偵察機は、ときどき間違えます。
だから、
株価が上がった
だけでは判断しません。
そのあと、
仕事は増えた？
利益は増えた？
給料まで届いた？
新しい投資が始まった？
と確認します。
そして一つの会社だけではなく、
「お金が、どの産業からどの産業へ飛んでいるのか」
を見る。
これが NIGHT FLIGHT のレーダーです。 📡 🌐

🌐 そして最後の「？」へ

ここまで長い旅をしてきました。
4158 兆円。
世界で稼ぐ日本。
国内へ戻るお金。
工場。
中小企業。
粗利。
賃金。
インフレ。
そして株式市場。
最後に、もう一度だけ最初の疑問へ戻ります。
「日本には 4158 兆円もある。それなのに、なぜ？」
答えは、少し見えてきました。
大切なのは、

いくら持っているかだけではない。

そのお金が、どこへ流れて、次に何を生み出したか。

そこを見ること。

だから――

日本復活を測る数字は、4158 兆円の資産額だけではない。

株価は、その大きな変化を少し先に探してくれる、

NIGHT FLIGHT の偵察機。

でも最後に答えを出すのは、

私たちが実際の数字を確かめたあとです。

 寄り道研究所

NIGHT FLIGHT SPECIAL II 【国内編】

● 初級レベル解説でした。

さらに、日経平均・TOPIX・出来高・売買代金・業種別の資金移動が何を教えてくれるのかを知りたい方は、

● 中級レベルへ。

 次の寄り道へ、ご搭乗ください。